

1. 調査報告概要表

作成日平成20年8月 26日

【評価実施概要】

事業所番号	3472300288
法人名	有限会社 ひまわり
事業所名	グループホームさくら
所在地	広島県大竹市南栄2丁目6-31 (電話)0827 53 3130
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成20年8月26日

【情報提供票より】(20年8月 6日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 12 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	11, 2

(2)建物概要

建物構造	木造平屋建
	1階建ての 1階 ~ 1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円	
敷金	有()	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/(無)	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	450 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	8 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.9 歳	最低	69 歳	最高	96 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	いしいケアクリニック 六日市病院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

静かな住宅街にあるグループホームさくらは普通の家と変わらず玄関の鉢植えの花、植木があり表札はさくらの花のやさしさが感じられた。ホームの中ではにぎやかな話し声や、笑いがあり、明るい声は理念の柱にされている。グループホームさくらとして家庭的な雰囲気、馴染みの関係、安定した生活、きめ細かなケア、役割と楽しみ、地域密着の理念をつくりあげ事業者、職員全員で目的達成に取り組まれていることが伺える

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価は全員で受け止め改善に取り組まれており、日々のケアに活かされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	さくらの理念、各ユニットの理念、個人の理念を心におき、取り組まれており迷った時その理念にたちどり、反省し、実践されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の出席者も会を重ねるごとに市役所の職員、包括支援センターの職員、自治会長、民生委員、家族の出席があり多くの情報がえられ地域との協力体制ができています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	さくら通信を2ヶ月に1回送り、行事報告し入居者に少しでも変化があれば家族に状況を伝えられている。家族は気軽に訪問されて話しやすい雰囲気であり、その都度要望を聞き対応されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の一人として行事に参加し交流がある。近所付き合いは日常的に挨拶を交わされて散歩などで声かけをされている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型の理念を職員、施設長以下一丸となって取り組み一人ひとりが家庭的な雰囲気の中で楽しい共同生活が送れるよう努力している。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットで理念を作り目標を定め全員がそれに向かって取り組んでおり、迷ったときは理念に戻るよう取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日々の生活の中で普通のお隣同士の関係で挨拶が交わされている。お祭りや、運動会などに参加し地域住民の一員となっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を通じて職員が改善にむけての姿勢やサービスの向上に努められる取組みがみられた。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長、体育会長、民生委員、老人クラブ会長、市職員、包括センター、家族、職員の出席でホームの現状報告や出席者の意見を聞くことができている。		

グループホームさくら

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市からの情報提供に参加しサービスの向上に努められる。(大竹ケアマネ会議、認知の講演会)		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	二ヶ月に一回 さくら通信を送りホームの様子を知らせている。病院受診前後には必ず報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情があれば即、全職員で対応されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	長期に勤務されるように職員間で悩みを聞き入れたりし、異動による入居者にダメージがないよう配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修にはなるべく参加するようにされている。それをミーティングの際周知されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	四ヶ所グループホームをもつ事業所なのでケアマネ会議を二ヶ月に一回開催し情報交換や勉強会を持つことで質の向上に努められている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	見学は何時でも受け入れており、入居者、家族の納得と安心が得られるようにされてホームに馴染るようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	家族の思いを職員も同じ気持ちで受け止めて支援されている努力がみられる。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	日々の生活の中で会話や行動から汲み取れるように気をつけて対応し、消極的な方にはとけこむように思いを聞き出している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	課題や問題解決に向けては全職員が話し合い、家族と入居者の要望を聞き介護計画に至っている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	状態の変化があるとき計画の見直しはされている。柔軟な対応ができています。		

グループホームさくら

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	地域でホームの見学を希望される方には見学を受け入れられており、入居を希望されている方は半日は過ごされる対制につくられている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、外科、精神科のかかりつけ医があり家族での通院、ホーム職員での通院がされている。二週間に一回はホームに医師が診察にこられている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、職員、医師はさくらでできる事を話し合い支援につなげている。		医療が必要な場合の対応は困難が多く。状況の変化があった場合、医師、家族、職員全員で話し合い具体的方向性をだされているので期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さくらの理念を徹底し個人情報の取り扱いには十分気をつけ取り扱っておられる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々その人の気持ちを大切に尊重されており入居者の希望が言える雰囲気をつくるように努められている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備の手伝いから食事まで入居者と一緒になり、楽しい雰囲気の中で(会話が弾む)場面がみられた。食事の片付けも自主的にしておられる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1回入浴ができ入居者のその日の状態、希望によって支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者が元気なときの得意分野を活かした役割を持つようにされ、一人ひとりの楽しみ事を支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩で出かけられているが、ドライブの機会を多くし、入居者の希望に添えるように努められている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	家族には安全面について話し合い理解を得ている。運営推進会議では家族や地域の方に十分な説明をされている。居間やリビングは開放され、家のまわりの広い庭は入居者の散歩コースであり、入居者の生きがいとなっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の参加により防災訓練はされている。これを地域の協力を得ようと運営推進会議で話し合いをもたれている。		会を重ねる度に地域の協力体制ができることを期待します。

グループホームさくら

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	さくらの管理栄養士の献立をユニットで調理され、旬の食材を使って入居者に喜ばれている。食事水分の摂取量は記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	みんなが集まり一番長く過ごす場所は入居者にとって家と同じように感じて過ごされている雰囲気がつくられている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしい居室づくりをされるよう入居者の馴染みのもの、使い慣れたものを持ち込まれている。		